

2026年7月

からし種

カトリック片瀬教会



市岡神父様に導かれてたどり着いた片瀬教会

たけ神父（宮内 毅）

2020年9月13日日曜日。この日は私にとって忘れられない日の一つです。当時は新型コロナウイルスの感染拡大真っ最中でした。そしてその頃私は、故市岡之俊神父様と一緒に茅ヶ崎教会の司祭館に住んでいました。本来であれば、神父様はその年にサバティカル(長期研修休暇)をお取りになって、かつてお勉強なさったカナダに行かれるはずだったのですが、コロナのためにそれが不可能となったので、それまで主任司祭を務めておられた茅ヶ崎教会の司祭館に引き続き滞在なさっておられたのです。

その日の晩、市岡神父様と私は司祭館で夕食をご一緒しました。当時はコロナのために、多くの飲食店がテイクアウトできるメニューを用意していました。私たちは事前に相談して、茅ヶ崎教会からそう遠くない場所にある韓国料理屋からテイクアウトすることにしました。二人とも韓国料理が大好きだったのです。

夕食の間、市岡神父様はあの優しい笑顔を絶やさないでおられました。二人で和やかに会話をし、美味しい食事を楽しむことができた時間でした。その時の私は、この食事が神父様との「最後の晩餐」になるとは、夢にも思っていませんでした。

翌日、市岡神父様はシスター方のために教会でミサを司式された後、お出かけになりました。前の晩、夕食の時に神父様は「宮内さん、明日のミサは私が司式します。宮内さんはゆっくり休んでください」と言ってくださったので、私はその言葉に甘えて、次の日のミサは市岡神父様に任せっきりにしてしまいました。神父様が神さまのもとに召されたのは、それからわずか二日後、「最後の晩餐」の三日後のことでした。

あれからもうすぐ六年が経ちます。今年の二月下旬、私は神父様の出身教会である片瀬教会の主任司祭に任命されることになりました。この人事異動を知った時、私は「ああ、市岡神父様が私を片瀬教会に導いてくださったのだなあ」と感じました。

2026 年 7 月度 教会委員会報告

2026.6.14.11:30～13:30

○出席者：宮内神父、委員長、副委員長、財務、典礼、宣教、コミュニティ B、
コミュニティ C、一粒会、広報、会計監査、総務、コミュニティ A、
中高大青会、福祉、市内キリスト教連絡会、副委員長

○欠席者：聖母訪問会、シャルトル聖パウロ修道女会

□ 初めの祈り (宮内神父)

□ 宮内神父のお話し 提案事項など

・方針・計画について(別紙参照)

講座は信徒中心に行っていく。委員会の中で担当いただく部を決めたい。

→宣教司牧部が担当する。

□ 全体の報告および連絡事項

1. 5 月 24 日聖霊降臨の祝い、受洗者の為、ブランチ神父の送別会は無事に終了。

今回は、担当コミュニティは決めず 3 コミュニティで協力して行った。食事、
買い物など分担し実行出来た事が素晴らしかった。

2. 6 月 7 日(日)初聖体 4 名の子どもたちが初聖体のお恵みを受けた。

この日の 10 時ミサからミサの中で奉納行列を再開。ミサ後お祝いパーティ。

3. 6 月 10 日(水)教会にてブランチ神父お見送り。

教会では宮内神父、藤沢の河野神父をはじめ多くの片瀬の信徒から、また羽田では
雪ノ下の保久神父他、今まで赴任された教会の多くの信徒から見送られ、しっかり
とした表情でご出発された。無事アイルランドに到着の連絡あり。

4. 5 月 16 日(土)10 時～15 時 信徒・修道者・司祭がともに信仰を分かち合う交流会

@大船教会 「わたしにとって<祈る>とは ～一人で祈る、共に祈る～」

片瀬から 2 名参加(B さんと M さん)

① 全大会は、信徒・修道者が代表して「自分にとっての祈りとは」というテーマに
沿ってのそれぞれの祈りについて、体験談などを語られた。

② 小グループに分かれて、それぞれ参加者の祈りについて分かち合い。

→それぞれの祈りについて、語られ非常に興味深かった。

5. 横浜教区共同宣教司牧サポートチームから 2026 年度研修会参加者

- ・ キリスト教入門講座カテキスタ養成エッセンス「入門コース」 2 名参加
- ・ キリスト教入門講座カテキスタ養成エッセンス「発展コース」 1 名継続
- ・ キリスト者の為の対話法傾聴奉仕者養成 実践コース 2 名参加
- ・ カトリック入門講座担当者養成コース 2 名参加
- ・ 祈りのヘルパー養成第 1 ステージ 1 名参加

- ・ 霊における会話 ファシリテーター養成コース 1名参加
計のべ9名の参加者。

6. 今年の消防避難訓練について

防災担当者が計画。海岸二丁目の町内会長である信徒(西東さん)と打ち合わせ中。
7月5日(日)8時・10時のミサ後に机上訓練を実施予定。実施時間20分程。

- ・ 年に1回の消火器点検は済んでいる。
- ・ AEDの更新手続きも済んでいる。(最新式になる)
- ・ 救急箱の中身の点検は毎年6月でしておいた方がよい。(前島)

7. 再度、顔と名前が一致する為に名札の着用をよびかけた。

8. 教会傷害保険(期間2026年6月1日～2027年6月1日)契約完了。

9. 先月決定した、平和の為に祈り(共同祈願の5つ目作成について)のノートをまわし始めた。6月14日(日)ミサから唱え始めた。(お知らせの裏に印刷)

10. 司祭館2階のお掃除詳細は、委員会グループメールにて報告済みの為割愛。

□各部からの報告及び連絡、討議事項(部会の有様、今考えていることについても報告してください)

*宮内神父初回の為、各部発表時に出席者の自己紹介。

総務部

別紙参照

- ・ 司祭館横の高い木の伐採・その他作業が臨時に必要なになった。予算外の臨時発注について→見積を発注し会計へ連絡、委員会全体へメールで共有する。

典礼部

- ・ 報告、議題について

①ミサの中の動作でできていないところがある。

(→6/14のミサの前に宮内神父から信徒全体へ説明もあった。)

回心の祈り、手を合わせて頭を下げて唱える。

栄光の賛歌、イエス・キリストのところで頭を下げる。

使徒信条、主は聖霊によって・・・頭を下げる。

②奉納行列が復活した。(6月7日より)

③書見台購入(現在購入したものは暫定的なもの。典礼として使えるか今後検討。)、
司祭は途中まで自席で司式するため。

④夏用のカズラの購入を検討している。

討議事項

① 2027年度堅信式の日を定める。三日位案を出しておく。

→例年の日程だと2027年5/16、23、6/13、20あたり。勉強の時間が短い場合は、

秋の実施も考える。

② 侍者について

今後、大人、中学生・高校生の侍者の勉強会を実施する。

大人の侍者は名簿を神父へ提出。中高大青(丸田)も提出を依頼。

小学生の侍者は、その後に勉強会を行う。

③ 祭壇付近の空気がこもるので次週から冷風扇を使用した方が良い。

○検討事項：追悼のミサについて(宮内神父)

原則、日曜日のメインのミサ(片瀬は 10 時)は、「すべての人のためにささげる」ことになっている。そのため、特定の人への祈り(追悼)は行わない。

今後はその方向で進めていきたい。

→追悼のミサは金曜日・日曜日 8 時のミサに行う。(委員会承諾)

上記については、6 月 19 日(金)と 6 月 21 日(日)に信徒へ司祭から説明する。但し既に受けているものについては予定通り行う事とする。

4. 宣教司牧部

- ・教会見学 10 月 22 日(木) 10 時～14 時 30 分 藤沢南図書館主催の団体 30 名程度が来訪予定。

片瀬江の島周辺を回ってくる中で片瀬教会に来る。予備日 23 日(金)同じ時間。

- ・訪問者ノートとスタンプを聖堂の入口に設置する予定。

5. 福祉部

- ・6 月 6 日(土)障害共に歩む集い、雪の下教会にて 2 名参加(アルコール依存症の方のお話)

- ・6 月 20 日(土)横浜教区(証し部門)福祉交流会

場所：片瀬教会信徒会館 1 階 ・時間 10 時～15 時

今年は片瀬教会と由比ヶ浜教会が担当。片瀬からは 8 名参加予定。

前日 6 月 19 日(金)会場準備を 1 時半より行います。

- ・夏期宿泊研修団体支援について

7 月 9 日(木) 9 時より信徒会館 1 階 2 階でバルサンを焚きます。当日、信徒会館は使えませんので、ご協力よろしくお願いいたします。

団体の日程は、以下の通りです。

- ①横浜マック 7 月 14 日から 16 日 ②A A 港北 7 月 20 日
- ③松陰アルク 7 月 21 日から 22 日 ④生活訓練 7 月 22 日から 23 日
- ⑤地域アルク 7 月 23 日から 24 日 ⑥みのわマック 7 月 28 日から 30 日
- ⑦ワンステップ 7 月 30 日から 31 日 ⑧インダー 8 月 3 日から 5 日
- ⑨川崎マック 8 月 19 日から 21 日

以上 9 団体が信徒会館に泊まりますので、ご協力お願いいたします。

6. 教会学校

1) カトリック教会学校・その他行事傷害見舞金制度

(期間 2025 年 6 月 1 日～2026 年 6 月 1 日)契約完了。

2) 第 5 地区教会学校リーダー会よりサマーキャンプのお知らせ作成配布

日程 8 月 6 日(木)～8 日(土) 場所：清泉女学院

参加費：1,500 円(交通費は自己負担)募集を開始

※本日 14 時から片瀬にてリーダー会のミーティング有。

参加者一人に対しての補助のお願いは先月して決定したが、リーダー分は全額教会からという事も昨年同様をお願いしたい。→承認。

3) 一粒会大会参加者を募集中。

7. 中高大青会

・堅信について神父と相談中。該当者は 4 名(対象は中学 1 年生から)

・受けそびれている子がいる。保護者の方でも受けていない人がいる。

→典礼部で名簿を確認しリストアップする。そのあとは、典礼と丸田で相談して進めていく。

8. 一粒会

・一粒会大会 11 月 3 日(火)

申込第一ㄹ切は 6 月 21 日。それまでに飯塚まで申し出る。宮内神父は欠席の予定。

9. 市内キリスト教連絡会

1. 6/13(土)に宮内神父と参加。

2. 市民クリスマスのキャロリングについて、片瀬バンドメンバーと福音コールで打合せ。

3. 2027 年 1 月 23 日(土) (14 時～16 時)のキリスト者一致のための合同祈祷会会場について、会場教会として片瀬教会を利用させて頂きたい。

→承認。茶話会があるので、その準備手伝いにご協力ください。

10. 宮繕及び修繕プロジェクト

・信徒会館の修繕について、芹澤神父のご親戚の業者、川崎建設、横浜教区でよく使っている業者も候補として考えている。

・ちょっとしたメンテナンスについては近隣の業者でよいと思うが、今回の修繕(百万単位の物)は相見積もりを取る必要がある。

・速度を持って動く。

・雑誌：ポパイから教会の写真を掲載したいと連絡があった。6 月 17 日(水)に担当者と打ち合わせ予定。当日は宣教司牧：相澤(雅)が対応する。

11. 各コミュニティから

・テーブルクロスにカビが発生している、使用後に濡れたもので拭きそのまま畳んでしまっているので、今後はアルコール消毒で拭いて乾かしてからしまう。

□ 検討・討議事項

1. 8月15日(土)聖母の被昇天にむけて

- ・8月6日から8月15日までの平和旬間に何をするかを考える。

※昨年度は聖体顕示を行った

→祈りのリレー、ロザリオの祈りなどまだ少し時間があるので神父と共に考えていく。

- ・8月15日 昨年は、夕方、ミサを行いその後「平和の祭」を行ったが今年はどうするか。早めに実行委員会を立ち上げて準備など開始した方が良いのではないか。

→例年通りの流れで実施する。ミサの時間を先に決める事、その後平和の祭の件を決める。

2. 待降節の黙想会について

- ・神言会 濱口神父に12月20日(日)で打診する。

(2年前にブランチ神父帰国中のミサ司式に来ていただいた。)

3. 敬老の日についても日程だけでも早めに決めておきたい。

- ・9月20日(日)祖父母と高齢者の為の記念日に決定。年齢は80歳以上のか た。

4. 昨年は5月18日コミュニティ全体ミーティングを行ったので今年も今後の活動の予定等を立てる為に行いたい。

→7月5日(日)10時ミサ・防災訓練後に実施する。

今後想定される予定

6月28日 福祉団体応援マーケット。

7月 平和の祭 小委員会を立ち上げ準備。

8月 毎年8月15日聖母の被昇天 ミサ及び片瀬の夕べを実施している。

10月か11月 教会バザー(近隣の教会となるべく被らない日を設定する。)

神父への質問

- ・お知らせの中で宮内神父から「面談は予約制」とあったが、「許しの秘跡」もそれにあたるのか。→原則として予約制。(神父自身も真摯に聞くため準備が必要なため。)

☐ 7月の予定

- ・別表にて確認 講座の日程は入っていない。

その他

司祭の予定表について

6月14日の委員会の日に説明をしていなかったのこちらの議事録に追記しておきます。

司祭の当月の予定表は毎月最新のものを事務室に掲示しておきます。司祭の大まかなスケジュールを確認したい場合は事務室で掲示してあるものをご覧ください。

☐ 終わりの祈り

次回教会委員会： 7月12日

片瀬教会で大切にしたいこと

たけ神父(宮内 毅)

私がこれから片瀬教会で大切にしていきたいと思っていることを、早いうちから皆さんに知っていただきたく、以下に掲載いたします。6月14日に行われた教会委員会でも委員の皆さんにお伝えいたしました。

1. 「お互いを respect(リスペクト)する」

英語の“respect”という語は、日本語に直訳しづらい言葉ですが、私の最も好きな英単語の一つです。私なりに訳すと「相手を自分と同じ一人の人間として認め、その人格と個性を尊重する姿勢・態度」となります。私は、この“respect”は愛の土台だと思います。言い換えれば respect のない愛は、本物の愛ではないのです。私たちは皆、神さまから命を与えられて生かされている同じ「神の子」なのですから、片瀬教会では信徒、修道者、司祭の間でも、信徒同士でもお互いを respect することを大切にしたいと思います。心の中で respect するだけでなく、言葉遣いや態度でお互いへの respect を表現するようにいたしましょう。

2. 「ともに歩む(synodos)」

「シノドス」という、教会でしばしば使われる言葉があります。これは、ギリシア語の“synodos”から来ています。“syn” は「ともに」という意味の接頭辞、“(h)odos” は「道」という意味の名詞なので、直訳すれば「道をとともにすること」となります。日本のカトリック教会はこれを「ともに歩む」と訳しました。信徒、修道者、司祭はそれぞれ教会での役割や立場が異なっていますが、皆同じキリスト信者(神の民)であり、神さまへと向かう道とともに歩き続ける仲間です。それぞれの特徴や違いを尊重(respect)しながらも、「ともに歩む」仲間同士であるという意識を忘れないようにいたしましょう。

3. 「教会は巡礼宿」

ある意味で、私たちは皆「巡礼者」だと思います。私たち人間は人生という長い旅路を、神さまの方に向かって歩き続けている存在だからです。ですから、教会に集まってくる人々は、キリスト信者であるかないかに関わらず、私たちを含めて皆「人生の巡礼者」です。そして、教会は「人生の巡礼者」たちを迎え入れ、彼ら・彼女たちが巡礼の旅を続けていくために必要なものを提供し、彼ら・彼女たちを送り出すという使命があります。言い換えれば、教会は「人生の巡礼者」たちのための「巡礼宿」なのです。片瀬教会が、「人生の巡礼者」たちの「巡礼宿」としての役割と責任を果たせるように働くことこそが、共同体全体の使命ではないかと思います。

聖霊降臨の神聖なお祝い

5月24日聖霊降臨のお祝いでは、アティーナちゃんの洗礼式が行われました。そしてブランチ神父様のご帰国される最後のミサとあって、他教会からも沢山の信徒がご挨拶に見え、大変賑わいました。大勢の共同体が心をつにし、聖霊降臨のお祝いとブランチ神父様への感謝の気持ちを抱いた集いとなりました。

ミサ後にはパーティーが開催され、笑顔の中にも神妙な空気が漂うひと時でした。



洗礼を受けて

P・B・T・N

2026年5月24日の聖霊降臨の主日に、娘のAが片瀬教会で洗礼を受け、洗礼名「マリア」をいただきました。私にとって、この日は娘の洗礼の日であると同時に、自分自身の信仰の歩みを振り返る特別な日でもありました。

私は長い間、カトリックの信仰に対して複雑な思いを抱いていました。信仰そのものを失ったわけではありませんでしたが、迷いや疑問を抱えながら過ごしてきました。そして教会に戻ろうと思ったとき、もっと深く信仰を知り、この道を歩んでいきたいと願うようになりました。

そんな中で、私にとって特別な祈りとなったのがロザリオです。ロザリオを祈るうちに、私は聖母マリアの優しさや忍耐強さ、そして静かな強さに心を引かれるようになりました。迷いや不安を感じる時にも、マリア様がいつもキリストのもとへ導いてくださるようになっていました。そのため、Aの洗礼名として「マリア」をいただいたことは、私にとってとても自然で、深い意味のあることでした。

洗礼式でブランチ神父様がAに洗礼を授けてくださった時、私は娘を腕に抱いていました。その瞬間、言葉ではうまく表せない気持ちになりました。もちろん娘を誇らしく思いましたが、それ以上に大きな感謝の気持ちでいっぱいになりました。自分自身が教会へ戻るまでの道のり、出会った人々、支えてくださった方々、そして神様の導き。そのすべてが、この瞬間につながっているように感じたのです。そして娘が洗礼を受ける姿を見ながら、私自身もまた神様

に招かれ、迎え入れられてきたことを改めて思い起こしていました。ブランチ神父様には特に感謝しています。

私が初めて片瀬教会を訪れたのは、数年前の復活祭のイベントでした。そして今回、自分と娘にとって大切なこの節目をブランチ神父様に導いていただけたことを、とてもありがたく思っています。また、Aの洗礼名についてお話した時のことも忘れられません。もともと長い名前なので、さらに洗礼名が加わることを一緒に笑ったのですが、その何気ない温かいやり取りが今でも心に残っています。そして何より、片瀬教会の皆さまに心から感謝しています。私は外国人として日本で生活していますが、さまざまな場面で自分が「違う存在」であることを意識することがあります。しかし片瀬教会では、そのような気持ちをあまり感じませんでした。皆さまがいつも親切に、そして温かく迎えてくださったからです。

教会に戻ることは、私にとって信仰を取り戻すことだけではありませんでした。安心して帰ることのできる場所を見つけることでもありました。そのことは私たち家族にとって大きな支えになっています。

Aがこれから信仰の中で成長していくことを思うと、願いはとてもシンプルです。人に優しくできる人になってほしい。自分らしく生きる勇気を持ってほしい。そして何より、失敗しても大丈夫だということを知っていてほしいと思います。もし将来Aがこの文章を読むことがあれば、伝えたいことがあります。

私は、あなたに完璧になってほしいから洗礼を受けてもらったのではありません。むしろ、人は誰も完璧ではないことを知っているからです。イエス様が呼ばれた人々も完璧ではありませんでした。私の洗礼名である聖ペトロも、失敗し、恐れ、迷うことのある人でした。それでもイエス様は彼を見捨てることなく、愛し続け、再び立ち上がる道を与えてくださいました。私があなたに知っていてほしいのも、そのことです。人生でどこへ行っても、どんな失敗をしても、神様の愛は変わりません。イエス様の心はいつも開かれています。そして、いつでも帰る場所があります。

Aの洗礼を見守りながら、その言葉は娘だけではなく、自分自身にも向けられていることに気づきました。神様は何度でも私たちを呼び続け、帰る場所を用意してくださっているのだと思います。この恵みに、そして私たち家族を温かく迎えてくださった片瀬教会の皆さまに、心から感謝しています。





初聖体をむかえて

フランシスコ・マリオ T.T.

6月7日に初聖体をむかえることができました。

初聖体のべんきょうかいでは、ゆっくりイエスさまにちかづいていったようなかんじがしました。

まえは、イエスさまはすぐ右がわにいて、「いつもはなしかけてくれる」と思っていたんですが、初めてご聖体をいただいて、すこし左にずれ、いっしょになったという気持ちになりました。

これから毎週ご聖体をいただけてうれしいです。

神父様、先生方、お祝いしてくださったみなさま、ありがとうございました。



初聖体を受けて

アナスタシア I.S.



初聖体は少しきんちょうしましたが、神父様やリーダーさんたちのおかげでじょうずにできたと思います。

聖体はいりょうのパンはおいしかったです。パーティーのごはんもおいしかったです。

初聖体のお恵みを受けて

マリア セシリア N.S. (母)



6月7日、片瀬教会の皆さまに見守られる中、初聖体のお恵みをいただきました。実は昨年も初聖体のお話をいただいていたが、本人の心の準備が整っていないと感じ、見送ることにしました。そして今年、娘の成長を感じる中で、初聖体を受ける時を迎えることができました。

準備期間には、ミサ後の勉強会に親子で参加いたしました。最初は気が進まない様子だった娘ですが、回を重ねるうちにイエス様の教えを少しずつ理解し、大切に受け止めるようになりました。また、一緒に学ぶお友達との交流も楽しみとなり、親子ともに温かく実りある時間を過ごすことができました。

当日は、少し緊張しながらも落ち着いてミサに参加する娘の姿に成長を感じ、感慨深い一日となりました。この日を迎えるまでご指導くださった宮國さんをはじめ、リーダーの皆さま、ブランチ神父様、毅神父に心より感謝申し上げます。また、温かく見守り、お祝いしてくださった片瀬教会の皆さまにも厚くお礼申し上げます。

初聖体のこと

小さき花のテレジア M.R.

日曜日に私は初聖体を受けました。お花かざりのついたベールをかぶり、白いドレスを着て神父様からパンを頂きます。お父さんバンドとオルガニストの演奏に合わせて聖歌を歌いました。初めてのパンはちょっぴりあまかったです。私たちがいただく聖体はキリストのいけにえです。このパンをいただくことでキリストのささげる生き方に招き入れられるのです。たくさんの写真をとっていただき、花束やお菓子いただき、とてもうれしかった。よい一日でした。



初聖体の準備のために授業をしてくださった宮國先生や前島先生、河部さん、小菅さんに感謝しています。ブランチ神父様、たけ神父様、一緒に勉強して、初聖体を一緒に受けた、たいきくん、さきちゃん、しおちゃんにも感謝します。

ゆるしの秘跡・司祭との面談をご希望の方へ

ゆるしの秘跡・司祭との面談をご希望の場合は、原則として事前に予約をとっていただきますようお願いいたします。理由は以下の二つです。

1. 司祭が教会を留守にすることが多い。
2. 心身が整い、心が落ち着いた状態でゆるしの秘跡や面談に臨むことを司祭が望んでいる。

もちろん、緊急の場合は例外です。

ゆるしの秘跡・司祭との面談をご希望の方は、以下のいずれかの方法で司祭と日程調整をしてください。予約を入れることが希望日時の直前や当日になった時でも、お引き受けできる場合があります。

- ① 司祭と直接お会いになった際に、日時をお約束下さい。
- ② 教会に電話をおかけになり、司祭と直接お話しをして日時をお約束下さい。
- ③ ①あるいは②の方法で司祭と連絡が取れない場合は、聖堂入口付近に置いてある申込書に氏名と電話番号を記入し、封筒に入れて封をして（個人情報ですので）**教会のポスト**に投函して下さい。司祭の方からご連絡いたします。皆様のご理解とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

ブランチ神父さま故郷へ！

6月10日午後、片瀬教会に集合した共同体の信徒たちに見送られ、羽田空港に出発したブランチ神父様。

空港には30人ほどの皆さんの姿がありました。連日の対応にお疲れのご様子でしたが、お元気に発たれる姿を見届けられたことに集まった皆さんから、寂しさ募る中でも安堵の表情が見受けられました。

翌日、次のようなメッセージが送られてきました。「無事にアイルランドに着きました。元気です。盛大なお見送りをありがとう。これからも皆さんとつながってきたいので、連絡ください。こちらにも近況報告します。」

2026年7月

☆教皇の意向：人命の尊重

人生のあらゆる場面において人命が尊重され、保障されますように。そして、人命は神からの賜物であることに気づくことができますように。

☆日本の教会の意向：被造物、地球環境

神によって造られたすべてのもののために祈ります。私たちが神に生かされ、神とつながっていることを意識しながら、被造物と地球環境を大切にしていけることができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

☆典礼と行事・活動予定

日付・曜日		典礼	ミサ時間	行事・活動予定
7/1	水			聖書と典礼を読む会（信徒のみ）10:00
7/2	木			
7/3	金		9:30	ミサ後、・金曜講座
7/4	土			
7/5	日	年間第14主日	8:00 10:00	
7/6	月			
7/7	火			火曜聖書講読会「ルカによる福音書」10:00
7/8	水			聖書と典礼を読む会（宮内神父出席）10:00
7/9	木			
7/10	金		9:30	
7/11	土			
7/12	日	年間第15主日	8:00 10:00	8月度教会委員会
7/13	月			
7/14	火			
7/15	水			聖書と典礼を読む会（信徒のみ）10:00
7/16	木			
7/17	金		9:30	ミサ後、金曜講座
7/18	土			
7/19	日	年間第16主日	8:00 10:00	・福祉ミニバザー ・今なら聞きたい教会史12:00～
7/20	月			
7/21	火			火曜聖書講読会「ルカによる福音書」10:00
7/22	水			聖書と典礼を読む会（宮内神父出席）10:00
7/23	木			
7/24	金		9:30	
7/25	土			
7/26	日	年間第17主日	8:00 10:00	
7/27	月			
7/28	火			
7/29	水			聖書と典礼を読む会（信徒のみ）10:00
7/30	木			
7/31	金		9:30	

◆お知らせ◆

○火曜、水曜、金曜の各講座が宮内神父様により継続されております。予定表の日程をご覧ください、新規の方の参加も大歓迎ですのでどうぞお越しください。

○全ての講座は、8月度は休講となります。

○金曜講座は、「コリントの信徒への手紙Ⅱ第1章15節～」です。

○7月14日(火)19:00～、片瀬教会にて「テゼの祈り」が開催されます。エキュメニカルなキリスト者の集まりで、ギターの弾き語りに合わせて歌い、祈り、黙想します。1年ぶりの片瀬での開催です。どうぞ皆様ご参加ください。



ガーデニングのアジサイ

2026年7月号

発行 カトリック片瀬教会
〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35
TEL/FAX 0466-22-4646
<https://www.catholickatasechurch.com>